

「パインプランニング杯関東地区1年生大会」決勝T進出8チーム決定



◇予選リーグ最終戦◇13日◇千葉・能満球場は決勝トーナメント進出の8チームが決まった。

決勝トーナメント進出の8チームが決まった。Cブロックでは、市原ポニージュニア・千葉ジャガースジュニアが勝ち進出した。

決勝27日



飛で同点に追い付くと、3番・鹿倉隆志の左前適時打で勝ち越しに成功。さらに7回、2死満塁から相手の失策で2点を追加。全勝で決勝トーナメント進出をリーグ1位で決めた。

市原が全勝対決逆転勝ち



予選Cブロック全勝で決勝トーナメントへ進出した市原ポニージュニア

市原ポニージュニア・那須勇元監督(51)は、1年生ながらしっかりしたマナー、安全対策もできた。勝ち負け以前にまずそこを褒めてあげたい」と選手をたたえた。先発の團春樹、リリーフした宮川颯汰の2本柱が試合を作った。回は2回に3本の安打に暴投、味方の野選が絡み、4点を失った。「今日はあまり調子がよくなかった」と言いながらも、3イニングを5奪三振の力投を見せた。4回からは背番号1の宮川が登板した。「團が4点取られてしまったので、自分はゼロで抑えようと思いましたが」と気合の投球で、4イニングを5安打1失点に抑える好リリーフ。勝利を手繰り寄せた。2本柱をリードする捕手で主将の鹿倉隆志が決勝打を放った。同点の6回表、2死二塁で打席に。狙い球はベルト付近に絞る。高めには手を出さないと決めていた。カウント11から真ん中近くを振り抜くと、打球は左前へ抜け、勝ち越し適時打となった。とにかく

成長しながら戦う



江東A (Aブロック1位) 自鳥

緊張の中、打撃、走塁、守備面で自分たちのプレーができていた。安心して戦えた。足りない部分も多いですが、成長しながら戦っていきたく思います。

試合する度に成長



江東B (Bブロック1位) 坂本

は、新しい仲間と野球ができて、試合をする度に成長してきた。次のステップでも野球に感謝と工夫をしながら試合に取り組んで欲しいと思います。

連盟所属初出場



つくば J Warriors

19年、ポニーリーグ関東連盟に属して以来初めての1年生大会に出場しました。予選からの連勝の勢いで、野球を楽しみながら、優勝を目指します。

後半の勢いのまま



手。決勝トーナメントは後半の勢いのまま13人で頂点目指します。

いつ何時も楽しく



メンツへつなぐ感じがしたと感ずきます。決勝Tも同じ気持ちで臨みます。

アウト大切に全力



いと思ひます。

く走者をかえしたかった。自分が決めるぞと思つて打席に入つた。真ん中に来た思い切り打つたのが結果につながり、返り満面の笑みだった。強豪千葉ジャガースジュニアを破り、市原は無敗で決勝トーナメント進出を決めた。「目標は優勝。もっとみんな集中力を保つて点をどんどん取っていきなさい」と鹿倉。決勝トーナメントへの意気込みを口にした。

先につながる試合



千葉ジャガースジュニア (Cブロック2位)

メンバー10人ながら、2回に3安打と相手守備の乱れなどから4点を奪い、一度は逆転に成功した。同点にされた5回には3番・田畑悠の適時三塁打で勝ち越したが、6回に逆転を喫した。「全体的に送球が乱れてしまったのが反省点。でも市原の好投手から5点取ることができたのはよかった」と櫻井雄太主将は前を向いて話した。齊藤雅之監督代行(61)も「全員が思い切りよくスイングできていた。先につながる試合になった。今日の悔しさを次に生かしてほしい」と期待を寄せた。